



令和 5 年 2 月 6 日  
令和 4 年度学校だより NO.54①  
加古川市立平荘小学校

## 2月4日は『立春』です

2月3日(金)の節分を経て、2月4日(土)から立春です。寒い日が続いていますが、暦の上では春と呼ばれます。

### 春が少しずつ感じられる「東風」

春を運んでくるように、春先に東方から吹いてくる風を「東風(こち:ひがしかぜ)」といいます。

～東風(こち)吹かば にほひおこせよ 梅の花 主(あるじ)なしとて 春な忘れそ～

これは、平安時代の貴族で学者の菅原道真の歌です。太宰府に左遷されたときに、邸(やしき)の梅の花に別れを惜しんで詠んだといわれています。

平荘小学校の梅の花も、春の訪れを知らせてくれています。日に日に、つぼみが膨らんできています。

### あいさつ運動展開中です

3学期も、1・2学期に引き続き児童会主体で『あいさつ運動』を推進しています。児童会が発信した『あいさつボランティア』の募集に多くの平荘っ子が応えています。

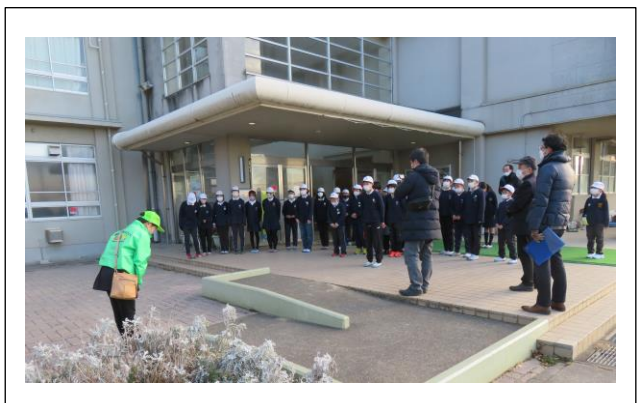
一昨日より昨日、昨日より今日といったように、日に日に子どもたちのあいさつの声が大きくなってきています。そして、相手の心に届く気持ちのこもったあいさつになってきています。



### 取材を受けました

1月31日(火)に、サンテレビジョンさんの取材を受けました。去る1月17日(火)にサンテレビジョンの『1.17報道特別番組』で、4年生の子どもたちが、災害に備えることの中に、地域とのつながりの重要性を発信しました。番組関係者は、平荘の子どもたちが、なぜ、災害に備えることの中に地域とのつながりを発信したのかを探るべく、1月31日(火)に再度来校されました(取材をされました)。

子どもたちは、ふだんから地域の方々大切にされ、温かく見守っていただきながら登下校をしています。その地域の方々との関わりの中で、『人と人とのつながりの重要性』を感じています。



2月7日(火)に、  
サンテレビジョンで  
17:30~17:40  
頃に報道されます。

## 『あいさつは 心を結ぶ 合言葉』

平荘小学校では、人と人とのつながりを大切に考え、あいさつ運動に力を入れています。一人一人のあいさつには個性がありますが、どの子も「あいさつの大切さ」は理解できています。これからも、「おはようございます」の9文字に、そして、「さようなら」の5文字に気持ちをのせて心をつないでいけるよう、教職員一同子どもたちに働きかけていきます。

地域の皆様、いつも子どもたちを温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。おかげ様で、子どもたちが安心して登下校ができます。感謝の気持ちをあいさつで伝えられるように、子どもたちも日々意識しています。

### 《授業より》

5年生



安全に気をつけて学習を進めています。彫りが完成すると、次は、色を選んで刷っています。

3年生



《あきようきがへんしん！》の学習です。粘土に絵の具を混ぜて、カラー粘土を作り、空のペットボトルをもとに、想像をふくらませて作品を作っています。どの子も、とても楽しそうです。

2月8日の入学説明会（体験学習）の準備をしています。心を込めてお手紙を書いています。



1年生

長さの学習をしています。単位をそろえて計算することがポイントです。



2年生